

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (1/7)

認定番号: 0013-0807, サービス名称: Socia人事/給与/就業・申請ASP(SaaS), 事業者名称: 株式会社エフエム

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
1	開示情報の時点	開示情報の日付	必須	2018/4/1	
- 事業所・事業					
2	事業所等の概要	事業者名	必須	株式会社エフエム	
3		設立年・事業年数	必須	事業者の設立年(西暦)	1973年
				設立後の事業年数(1年に満たない場合は月数)	44年
4		事業所	事業者の本店住所・郵便番号	必須	〒150-0002 東京都渋谷区渋谷三丁目11番2号パインビル
	事業所数(国内、国外)		国内: 4		
	主な事業所の所在地		東京都(2ヶ所)、大阪府(1ヶ所)、名古屋(1ヶ所)		
5	事業の概要	主な事業の概要 事業者の主要な事業の概要 (ASP・SaaS以外も含む) <100字以内で記述>	必須	①電子計算機用(人事・給与・就業・会計)パッケージシステムの開発と販売/同ASPサービス/給与アウトソーシングサービス ②電子計算機用各種システムの受託開発 ③電子計算機及び関連機器の販売	
- 人材					
6	経営者	代表者氏名	必須	山本哲也	
		代表者写真	選択	記述無し(*)	
		代表者年齢		記述無し(*)	
		代表者経歴(学歴、業務履歴、資格等)		記述無し(*)	
7	役員	役員数	選択	記述有り(*)	
		役員氏名及び役職名		記述有り(*)	
8	従業員	従業員数	選択	記述有り(*)	
- 財務状況					
9	財務データ	売上高	必須	事業者全体の売上高(単独ベース)(単位:円)	¥1,661,556,525(平成29年12月期)
10		経常利益	選択	事業者全体の経常利益額(単独ベース)(単位:円)	記述無し(*)
11		資本金	必須	事業者全体の資本金(単独ベース)(単位:円)	¥30,000,000
12		自己資本比率	選択	事業者全体の自己資本の比率(単独ベース)(単位:%)	記述無し(*)
13		キャッシュフロー対有利子負債比率	選択	事業者全体のキャッシュフロー対有利子負債比率(単独ベース)(単位:%)	記述無し(*)
14		インタレスト・カバレッジ・レシオ	選択	事業者全体のインタレスト・カバレッジ・レシオ(単独ベース)(単位:%)	記述無し(*)
15	財務信頼性	上場の有無	選択	株式上場の有無と、上場の場合は市場名	記述有り(*)
16		財務監査・財務データの状況	選択	該当する財務監査・財務データの状況を、以下より選択する。 ①会計監査人による会計監査、②会計参与による監査、③中小企業会計によるチェックリストに基づく財務データ、④いずれでもない	記述有り(*)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(\*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※ 本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (2/7)

認定番号: 0013-0807, サービス名称: Socia人事/給与/就業・申請ASP(SaaS), 事業者名称: 株式会社エフエム

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
17		決算公告	決算公告の実施の有無	選択 記述有り(*)
- 資本関係・取引関係				
18	資本関係	株主構成	大株主の名称(上位5株主程度)、及び各々の株式保有比率	選択 記述無し(*)
19	取引関係	大口取引先	大口取引先の名称	選択 記述有り(*)
20		主要取引金融機関	主要取引金融機関の名称	選択 記述有り(*)
21		所属団体	所属している業界団体、経済団体等の名称	選択 記述有り(*)
- コンプライアンス				
22	組織体制	コンプライアンス担当役員	コンプライアンス担当の役員氏名	選択 記述有り(*)
23		専担の部署・会議体	コンプライアンスを担当する社内の部署・会議体の有無と、存在する場合は社内の部署名・会議名	選択 記述有り(*)
24	文書類	情報セキュリティに関する規程等の整備	情報セキュリティに関する基本方針・規程・マニュアル等文書類の名称	必須○ 情報セキュリティ基本方針 ISMSマニュアル
			上記の文書類の経営陣による承認の有無	
25		勧誘・販売に関する規程等の整備	勧誘・販売に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、文書類がある場合はそれらの文書名	選択 記述有り(*)
		上記の文書類の経営陣による承認の有無	記述有り(*)	
26	ASP・SaaSの苦情対応に関する規程等の整備	ASP・SaaSの苦情処理に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、文書類がある場合はそれらの文書名	必須 有り: SociaNet標準SLA サービス標準 運用業務標準: データセンター	
		上記の文書類の経営陣による承認の有無		有り
- サービス基本特性				
27	サービス内容	サービス名称	申請したASP・SaaSのサービス名称	必須 Socia人事/給与/就業・申請ASP(SaaS)
28		サービス開始時期	申請したASP・SaaSのサービス開始年月日(西暦)	必須 2000/4/1
			サービス開始から申請時までの間の大きなリニューアル等実施の有無と、行われた場合はリニューアル年月日(西暦)	有り: 2004/7/1 2005/1/1
29	サービスの基本タイプ	アプリケーションサービス、ネットワーク基盤サービス、ASP基盤サービス、その他サービスの4つ中から該当タイプを選択	必須 アプリケーションサービス	
30		申請したASP・SaaSのサービスの内容・特徴 <500字以内で記述>	必須 自社開発のパッケージソフトSocia人事/給与/就業・申請(累計販売ライセンス数:1500)を、世界最大級の規模を誇る@TO KYOデータセンターをIDCとするASPサービス(SaaS)として提供。 Socialは1ライセンスで複数会社を管理することが可能なためグループ企業の統合管理に最適。 人事・給与・就業という関連業務を同一シリーズで管理できるため、データの二重管理という煩わしさもなく、シームレスな業務管理が可能となる。 給与計算は規定の変更によるプログラム変更が想定されがちだが、Socialの特徴であるユーザによる計算式設定変更機能(履歴管理あり)により、プログラム変更を伴うことなく、ユーザが事前に設定・確認を行うことが可能になっている。 アプリケーションのサポート窓口はパッケージユーザと同じであり、同一品質のサービスが受けられる。(操作説明・定期講習等)ユーザのアプリケーション環境及びデータは、万が一に備え、遠隔地(大阪)へ定期的にバックアップを行っている。	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。  
(\*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※ 本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (3/7)

認定番号: 0013-0807, サービス名称: Socia人事/給与/就業・申請ASP(SaaS), 事業者名称: 株式会社エフエム

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
		他の事業者との間でサービス連携を行っていることの有無と、ある場合はその内容 <前記述と合せて500字以内で記述>		無し
31	サービスのカスタマイズ範囲	アプリケーションのカスタマイズの範囲(契約内容に依存する場合はその旨記述) <200字以内で記述>	必須	提供アプリケーションのカスタマイズに特に制限は無いが、ベースとなるアプリケーションの著作権・所有権は株式会社エフエムにあるため、カスタマイズ後の使用権を購入することになる。このため、別途、業務委託契約・カスタマイズ保守契約の締結が必要となる。
32	サービスの(事業)変更・終了時の事前告知	利用者への告知時期(事前の告知時期を1ヶ月前、3ヶ月前、6ヶ月前、12ヶ月前等の単位で記述)	必須○	2ヶ月前
告知方法		文書		
33		サービスの(事業)変更・終了後の対応・代替措置	必須	有り: Sociaパッケージ導入への切替支援または他社サービスへの移行支援  有り: 基本的にSociaパッケージ導入を推奨。提携している他社代替サービスは無い(企業グループ内のASP・OSサービスのみ許可しているため)が、他社サービスへの移行支援は可能。  有り: 返却・消去に関してはSLAに記載している。
34	サービス(事業)変更・終了に係る問合せ先	必須○		有り: Sociaサポートセンター(平日の9時~17時30分) Sociaデータセンター障害窓口(平日の9時~23時)
35	サービスの料金	課金方法	必須	従量部分の課金方法  管理人数による課金(ボリュームディスカウント有り) 従量単価: 人事/100円, 給与/100円, 就業・申請/140円  固定部分の課金方法  月額基本使用料(アカウント貸与ユーザ) 人事/給与/就業・申請 各々100,000円(最初の1ユーザのみ) + 追加アカウント 40,000円/ユーザ
36		料金体系		必須
37		解約時ペナルティ	必須	解約時違約金(ユーザ側)の有無と、違約金がある場合はその額  解約違約金は特にないが、1ヶ月未満の利用期間に対して1ヶ月分の月額利用額が発生する。
38	利用者からの解約事前受付期限	利用者からのサービス解約の受付期限の有無と、有りの場合はその期限(何日・何ヶ月前かを記述)	必須	有り: 2ヶ月前
39	サービスの稼働設定値	サービス稼働率のこれまでの実績値、またはやむなき理由により実績値が記載できない場合はその理由と目標値	必須	99.903%(2017年4月~2018年3月)
申請したサービスが該当する「情報セキュリティ対策ガイドライン」におけるサービス種別のパターン番号と稼働率の対策参照値		パターン1 対策参照値99.5%以上		
サービス停止の事故歴		2017年4月~2018年3月の1年間で3回発生 事故の概要: Webシステム高負荷によるWebサイト接続障害(2回)、APサーバ適用作業漏れによるサービス利用障害		

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(\*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※ 本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (4/7)

認定番号: 0013-0807, サービス名称: Socia人事/給与/就業・申請ASP(SaaS), 事業者名称: 株式会社エフエム

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
40	サービスパフォーマンスの管理	機器、ソフトウェア等のシステム障害によるサービス応答速度の低下等の検知方法 (検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の検知方法)	選択	記述有り(*)
		サービス応答速度等のサービスパフォーマンスの正常性の把握方法 (検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の把握方法)		記述有り(*)
41	サービスパフォーマンスの増強	ネットワーク・機器等の増強判断基準あるいは計画の有無、判断基準や計画がある場合は増強の技術的措置(負荷分散対策、ネットワークルーティング、圧縮等)の概要	選択	記述有り(*)
42	認証取得・監査実施	プライバシーマーク、ISMS(JIS Q 27001など)、ITSMS(JIS Q 27001など)の取得、18号監査(米ではSAS70)の監査報告書作成の有無、上記がある場合は認証名あるいは監査の名称	選択	記述有り(*)
43	個人情報の取扱い	個人情報を収集する際の利用目的の明示	必須	「個人情報の取り扱いに関する契約書」にて使用目的等を限定し、契約後から情報を登録している。
44	脆弱性診断	診断の対象(アプリケーション、OS、ハードウェア等)	選択	記述有り(*)
		診断の頻度、診断の結果から対策が必要となった部分に対する対応状況(対象ごとに)		記述有り(*)
45	バックアップ対策	バックアップ実施インターバル	必須	システムを含む全体: 1ヶ月 ユーザーデータ: 1日
		世代バックアップ(何世代前までかを記述)	必須	システムを含む全体: 2世代 ユーザーデータ: 5世代
46	バックアップ管理	バックアップ確認のインターバル	選択	記述有り(*)
47	受賞・表彰歴	ASP・SaaSに関連する各種アワード等の受賞歴	選択	記述有り(*)
48	SLA(サービスレベル・アグリーメント)	本審査基準に含まれる開示項目がSLAとして契約書に添付されるか否か	必須	SociaNet標準SLA 有り
49	サービス利用量	利用者数 申請したASP・SaaSのサービスの利用者ライセンス数 (同時接続ユーザ数か、実ユーザ数かも明示)	選択	記述有り(*)
50		代理店数 申請したASP・SaaSのサービスの取扱い代理店数	選択	記述有り(*)
- アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ等				
51	内容	サービスを実現する主要ソフトウェア	必須	Socia人事/給与/就業・申請/Audit
		主要ソフトウェアの概要 <200字以内で記述>	必須	人事:会社マスタ(組織・役職等)および個人経歴・個人情報等の全管理項目に対し、履歴管理を行い、過去・未来の情報をシームレスに管理できる。 給与:人事同様に全項目の履歴管理を行うと共に、給与計算式も履歴管理を行い、制度改定への事前対応を可能にしている。 就業・申請:複数の勤務体系に対応でき、人事・給与との連動によりシームレスな管理を可能にしている。 共通:複数会社の管理が可能。
52	主要ソフトウェアの提供事業者	提供事業者の名称	必須	株式会社エフエム (申請者に同じ)
53	連携・拡張性	他システム等との連携方法	選択	記述有り(*)
		標準的でないAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の公表の可否		記述有り(*)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。  
(\*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※ 本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (5/7)

認定番号: 0013-0807, サービス名称: Socia人事/給与/就業・申請ASP(SaaS), 事業者名称: 株式会社エフエム

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
54	セキュリティ	死活監視(ソフトウェア、機器)	必須○	サーバー: 自動監視(インターバルなし) Webサイト: 自動監視 :30分	
		障害時の利用者への通知時間		サービス提供に関わる障害時:30分以内	
		障害監視(ソフトウェア、機器)	必須	有り	
		時刻同期	必須	NTP	
		ウイルスチェック	必須○	ウイルスチェック:有り パターンファイル更新は手動実施。更新間隔:(営業日)24時間以内	
		記録(ログ等)	必須○	ログ取得:利用状況、例外処理、セキュリティ監視関連について有り 保存期間:7年	
59	セキュリティパッチ管理	パッチの更新間隔(ベンダーリリースからパッチ更新開始までの時間)	必須○	(営業日)24時間以内	
- ネットワーク					
60	回線	専用線(VPNを含む)、インターネット等の回線の種類	必須	インターネット回線	
		ユーザ接続回線について、ASP・SaaS事業者が負う責任範囲	必須	IDC(サービス提供拠点)と利用者との間のユーザ接続回線は、責任を負わない	
61	推奨帯域	推奨帯域の有無と、推奨帯域がある場合はそのデータ通信速度の範囲	必須	有り: 1Mbps以上	
62	推奨端末	パソコン、携帯電話等の端末の種類、OS等	必須	パソコン: Windows 10,8.1,7,	
		利用するブラウザの種類	必須	Windows: IE ver.9~11	
63	セキュリティ	ファイアウォール設置等	必須○	有り	
64		不正侵入検知	必須	有り	
65		ネットワーク監視	事業者とエンドユーザとの間のネットワーク(専用線等)において障害が発生した際の通報時間	選択	記述有り(*)
66		ID・パスワードの運用管理	IDやパスワードの運用管理方法の規程の有無	必須○	有り
67		ユーザ認証	ユーザ(利用者)のアクセスを管理するための認証方法、特定の場所及び装置からの接続を認証する方法等	必須○	ID・パスワードによる認証
68		管理者認証	サーバー運用側(サービス提供側)の管理者権限の登録・登録削除の正式な手順の有無	必須○	管理者権限運用管理手順有り
69	なりすまし対策(事業者サイド)	第三者による自社を装ったなりすましに関する対策の実施の有無と、対策がある場合は認証の方法	必須	外部組織によるサーバー証明書(SSLサーバー証明書)を利用。顧客用のWebサポートページへなりすましに関する注意喚起と、自社Webサイトであることの確認方法を掲載している。	
70	その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(情報漏洩対策、データの暗号化等)	選択	記述有り(*)	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(\*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※ 本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (6/7)

認定番号: 0013-0807, サービス名称: Socia人事/給与/就業・申請ASP(SaaS), 事業者名称: 株式会社エフエム

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
- ハウジング(サーバ設置場所)				
71	施設建築物	建物形態	データセンター専用建物か否か	必須 専用
72		所在地	国名、(日本の場合は地域ブロック名(例: 関東、東北))	必須 日本・関東
73		耐震・免震構造	耐震数値	必須 震度7 地下から3階は耐震構造、4階以上は免震構造。
	免震構造や制震構造の有無			
74	非常用電源設備	無停電電源	無停電電源装置(UPS)の有無と、UPSがある場合は電力供給時間	必須 UPSは無。 2系統(ルート)の電源が確保されているため、不要となっている。
75		給電ルート	別の変電所を経由した給電ルート(系統)で2ルート以上が確保されているか否か(自家発電機、UPSを除く)	必須 確保されている
76		非常用電源	非常用電源(自家発電機)の有無と、非常用電源がある場合は連続稼働時間の数値	必須 有り: 無給油にて24時間 (無停止連続給油にて延長可能)
77	消火設備	サーバールーム内消火設備	自動消火設備の有無と、ある場合はガス系消火設備か否か	必須 有り: ガス系
78		火災感知・報知システム	火災検知システムの有無	必須 有り
79	避雷対策設備	直撃雷対策	直撃雷対策の有無	必須 有り: 避雷針及び電源・通信共に地下専用トンネル使用により影響なし
80		誘導雷対策	誘導雷対策の有無と、対策がある場合は最大対応電圧の数値	必須 無し 補足: 受電系統については、電力会社の電源変電所および送電ケーブルは屋内または地中同道内に設置されているため、誘導雷の影響を受ける恐れはありません
81	空調設備	十分な空調設備	空調設備(床吹き上げ空調、コンピュータ専用個別空調等)の内容	選択 記述有り(*)
82	セキュリティ	入退館管理等	入退室記録の有無と、入退室記録がある場合はその保存期間	必須 有り 保存期間: 3ヶ月間 有り: (稼働時間)24時間365日 (監視範囲)非公開 (保存期間)3ヶ月間
			個人認証システムの有無	
83	メディアの保管	紙、磁気テープ、光メディア等の媒体の保管のための鍵付きキャビネットの有無	紙、磁気テープ、光メディア等の媒体の保管のための鍵付きキャビネットの有無	必須 有り
			保管管理手順書の有無	有り
84	その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(破壊侵入防止対策、防犯監視対策等)	選択 記述有り(*)	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(\*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※ 本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (7/7)

認定番号: 0013-0807, サービス名称: Socia人事/給与/就業・申請ASP(SaaS), 事業者名称: 株式会社エフエム

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
- サービスサポート				
85		連絡先	必須○	(Sociaサポートセンター) 電話番号: 03-3407-3008 FAX 番号: 03-5485-5963 メールアドレス: socia_support@fminc.co.jp (Sociaデータセンター障害受付窓口) 電話番号: 03-6418-1243 メールアドレス: SINAPS.Support@fminc.co.jp Web URL: http://www.fminc.co.jp/SINAPS/contact/
		代理店連絡先の有無と、ある場合は代理店名称、代理店の本店の所在地と連絡先		無し: 代理店販売の場合でも、直接サポートとなる
86	サービス窓口(苦情受付)	営業日・時間	必須	(Sociaサポートセンター) 土曜・日曜・祝日及び年末年始の12月30日~1月3日を除く平日の9時~17時30分 (Sociaデータセンター障害受付窓口) 土曜・日曜・祝日及び年末年始の12月30日~1月3日を除く平日の9時~23時
		メンテナンス実施時間		定期メンテナンス: 毎月第2日曜日(24時間) 臨時メンテナンス: 不定期に実施(原則2時から5時)
87	サポート対応	サービスサポートの稼働率の実績値(単位:%)	選択	記述無し(*)
		放棄率の実績値(単位:%)		記述無し(*)
		応答時間遵守率の実績値(単位:%)		記述無し(*)
		基準時間完了率の実績値(単位:%)		記述有り(*)
88	サポート範囲・手段	サポート範囲	必須	・サービス利用/操作方法 ・障害等トラブル対応
		サポート手段(電話、電子メールの返信等)		電話、電子メール
89	サービス保証・継続	サービスダウンしない仕組み	必須	冗長化と負荷分散の組み合わせにより対応
90	サービス保証・継続	事故発生時の責任と補償範囲	必須	有り: ASPサービス利用契約書
91	サービス通知・報告	メンテナンス等の一時的サービス停止時の事前告知	必須○	利用者への告知時期(1か月前、3か月前、6か月前、12か月前等の単位で記述)
		告知方法		電子メール、Webサイト
		記述よりも短い告知時期での緊急メンテナンスの有無		有り
92		障害・災害発生時の通知	必須○	有り
93		定期報告	必須	有り(定期報告オプション契約を頂いた場合)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(\*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※ 本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。